

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 31 日 (2006.8.31)

【公開番号】特開 2001-57888 (P2001-57888A)

【公開日】平成 13 年 3 月 6 日 (2001.3.6)

【出願番号】特願 平 11-234809

【国際特許分類】

| | | |
|----------------|---------------|------------------|
| C 1 2 N | 15/09 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/711 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/395 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 45/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 48/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 35/00 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 14/47 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 16/18 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 1/15 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 1/19 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 1/21 | (2006.01) |
| C 1 2 P | 21/02 | (2006.01) |
| C 1 2 Q | 1/68 | (2006.01) |
| G 0 1 N | 33/15 | (2006.01) |
| G 0 1 N | 33/50 | (2006.01) |
| G 0 1 N | 33/574 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 38/00 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 5/10 | (2006.01) |
| C 1 2 P | 21/08 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|--------|---------|
| C 1 2 N | 15/00 | Z N A A |
| A 6 1 K | 31/711 | |
| A 6 1 K | 39/395 | E |
| A 6 1 K | 39/395 | T |
| A 6 1 K | 45/00 | |
| A 6 1 K | 48/00 | |
| A 6 1 P | 35/00 | |
| C 0 7 K | 14/47 | |
| C 0 7 K | 16/18 | |
| C 1 2 N | 1/15 | |
| C 1 2 N | 1/19 | |
| C 1 2 N | 1/21 | |
| C 1 2 P | 21/02 | C |
| C 1 2 Q | 1/68 | A |
| G 0 1 N | 33/15 | Z |
| G 0 1 N | 33/50 | T |
| G 0 1 N | 33/50 | Z |
| G 0 1 N | 33/574 | A |
| A 6 1 K | 37/02 | |
| C 1 2 N | 5/00 | A |
| C 1 2 P | 21/08 | |

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記の群より選ばれるポリペプチド；

(1) 配列表の配列番号1に記載のアミノ酸配列で示されるポリペプチド、

(2) 前記(1)のポリペプチドと少なくとも約70%のアミノ酸配列上の相同性を有し、かつ大腸癌の癌抑制遺伝子(Adenomatous Polyposis Coli: APC)の遺伝子産物のアルマジロリピート部位をコードするポリペプチドに対する結合能を有するポリペプチド、

および

(3) 前記(1)のポリペプチドのアミノ酸配列において1ないし数個のアミノ酸の欠失、置換、付加などの変異あるいは誘発変異を有し、かつAPC遺伝子産物のアルマジロリピート部位に対する結合能を有するポリペプチド。

【請求項2】 配列表の配列番号1に記載のアミノ酸配列の少なくとも5個のアミノ酸配列を有し、かつAPC遺伝子産物のアルマジロリピート部位に対する結合能を有するポリペプチド。

【請求項3】 請求項1または2に記載のポリペプチドをコードするポリヌクレオチドまたはその相補鎖。

【請求項4】 請求項3に記載のポリヌクレオチドまたはその相補鎖とストリンジェントな条件下でハイブリダイゼーションするポリヌクレオチド。

【請求項5】 配列表の配列番号2に記載のポリヌクレオチドまたはその相補鎖の塩基配列のうち少なくとも15個の連続した塩基配列で示されるポリヌクレオチドであって、該ポリヌクレオチドの転写によって発現されるポリペプチドがAPC遺伝子産物のアルマジロリピート部位に対する結合能を有する、ポリヌクレオチド。

【請求項6】 請求項3から5のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドを含有する組換えベクター。

【請求項7】 請求項6の組換えベクターで形質転換された形質転換体。

【請求項8】 請求項7の形質転換体を培養する工程を含む、請求項1または2に記載のポリペプチドの製造方法。

【請求項9】 請求項1または2に記載のポリペプチドを免疫学的に認識する抗体。

【請求項10】 請求項1に記載のポリペプチドの、APC遺伝子産物のアルマジロリピート部位に対する結合性を阻害もしくは増強する化合物のスクリーニング方法であって、請求項1または2に記載のポリペプチド、請求項9に記載の抗体のうち、少なくともいずれか1つを用いることを特徴とするスクリーニング方法。

【請求項11】 請求項3もしくは4に記載のポリヌクレオチドと相互作用して該ポリヌクレオチドの発現を阻害もしくは増強する化合物のスクリーニング方法であって、請求項3から5のいずれか1項に記載のポリヌクレオチド、請求項6に記載のベクター、請求項7に記載の形質転換体、請求項9に記載の抗体のうち少なくともいずれか1つを用いることを特徴とするスクリーニング方法。

【請求項12】 請求項1に記載のポリペプチドのGEF(グアニンヌクレオチド交換因子: Guanine nucleotide Exchange Factor)活性を阻害もしくは増強する化合物のスクリーニング方法であって、請求項1または2に記載のポリペプチド、請求項9に記載の抗体のうち少なくともいずれか1つを用いることを特徴とするスクリーニング方法。

【請求項13】 請求項1または2に記載のポリペプチド、請求項3から5のいずれ

か 1 項に記載のポリヌクレオチド、請求項 6 に記載のベクター、請求項 7 に記載の形質転換体、および請求項 9 に記載の抗体のうち、少なくともいずれか 1 つを含有することを特徴とする、大腸腫瘍の治療に用いる医薬組成物。

【請求項 14】 請求項 1 のポリペプチドの発現または活性に関連した疾病の診断手段であって、試料中の (a) 該ポリペプチドをコードしているポリヌクレオチド、および / または (b) 該ポリペプチド、をマーカーとして分析することを含む診断手段。